

会社概要 2011年12月31日現在

商号 ホシザキ電機株式会社
(HOSHIZAKI ELECTRIC CO.,LTD.)
所在 本社 〒470-1194
愛知県豊田市栄町南館 3-16
(代表電話) 0562-97-2111
設立 昭和22(1947)年2月5日
上場 平成20年12月10日：東京証券取引所市場第一部
並びに名古屋証券取引所市場第一部
資本金 78億12百万円
事業内容 全自動製氷機、業務用冷凍冷蔵庫、食器洗浄機をはじめ
とする各種業務用厨房機器の研究開発及び製造販売
決算 12月31日
従業員数 (連結)10,195名 (単体)1,228名
連結子会社 国内17社 海外28社(合計45社)

役員 2012年3月28日現在

代表取締役会長 …… 坂本 精志
代表取締役社長 …… 鈴木 幸彦
専務取締役 …… 成瀬 信隆
専務取締役 …… 浦田 康博
常務取締役 …… 本郷 正己
取締役 …… 小川 恵士郎
取締役 …… 渡部 晴夫
取締役 …… 高橋 勉
取締役 …… 丸山 暁
取締役 …… 川井 秀樹
取締役 …… 小林 靖浩
常勤監査役 …… 北垣戸 弘充
監査役 …… 小野田 誓
監査役 …… 南 舘 欣也

株主メモ

| | |
|---------|---|
| 事業年度 | 1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当：毎年12月31日 中間配当：毎年6月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168 - 0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | 電話0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店及び全国各支店並びに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。 |

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。



ホシザキ電機株式会社

〒470-1194 愛知県豊田市栄町南館 3-16
総務部総務課
TEL : 0562-96-1111 FAX : 0562-97-7427



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



株主・投資家の皆さまへ

ホシザキグループ
報告書

第66期

2011年1月1日～12月31日

Think Kitchen, Think the Earth



代表取締役社長
鈴木 幸彦

海外への積極進出、既存市場の深掘りと新規市場の開拓を通じてグループ価値の最大化に努めます。

Q 当期の業績についてお話しください。

A 外部環境の悪化による業績への影響を最小限に留めることができました。

2011年の年明け以降、回復基調にあった国内景気も、東日本大震災の影響を受け、大きく後退しました。その後この落ち込みからいったん回復基調に向かったものの、下半期にはタイ国で水害が発生し、企業の生産活動に大きな影響を及ぼしました。当社においても、一部主要部品に影響を及ぼし、製品供給において一時期支障が生じました。こうした厳しい環境の中で、当期(2011年12月期)はグループ一丸となって原価の低減と売上総利益率の向上に取り組み、販売費及び一般管理費の削減等を図ることで利益の確保に努めてまいりました。

海外では欧米諸国における債務問題が深刻化するなど、一層不透明感が強まる状況となりました。当期実績では、海外事業が堅調に推移したものの、その一方では歴史的な円高の影響を受けました。その結果、連結ベースで売上が前期比100.0%、営業利益が前期比99.8%、経常利益が前期比105.3%となりました。

2011年12月期 通期業績(連結)

| | | |
|------|-------------|-------|
| 売上高 | 1,692億97百万円 | △0.0% |
| 営業利益 | 138億8百万円 | △0.2% |
| 経常利益 | 137億50百万円 | 5.3% |

Q 国内と海外、それぞれの市場での取り組みの現状について教えてください。

A 将来の成長基盤をつくりながら、世界規模でシェア・アップを図っています。

国内では、消費の節約志向が外食産業に暗い影を落としています。この逆風の中、将来の成長基盤をつくるべく、「外食産業以外の新規市場開拓」と「既存市場の深掘り」を推進しています。新規市場開拓の具体的な取り組みのひとつとして、「お客様の調理と衛生に関わる課題解決」のための提案型営業の推進に取り組んでいます。また、既存市場の深掘りについては、外食産業の節電意識への高まりを受け、省エネタイプの業務用冷蔵庫の買い替え需要が伸びるという環境変化を追い風に、今後は更なる省エネ対応製品のラインナップ強化、そして冷媒・断熱材のノンフロン化といった、環境対応を展開していきます。業務用厨房機器のリーディングカンパニーとして、環境面からも業界をリードしていくことで、利益を確保しつつ、社会的責任を果たしてまいります。

海外では、需要が急速に拡大しつつある中国において蘇州工場の増設を進めています。生産能力と製品ラインナップを増強しながら営業ネットワークを広げることで、中国国内での拡販を狙います。同時に北米、欧州でも主力製品の品揃えと価格競争力を強化し、製氷機のみならず業務用冷蔵庫などの主力製品の市場シェア拡大を目指しています。

Q ホシザキグループの今後についてお聞かせください。

A グループ力を活かして、中期的には海外売上高比率を35%に拡大します。

先の東日本大震災では、ホシザキグループの力を結集し、被災したホシザキ東北への業務支援や、復興ボランティアへの参加、義援金等、ホシザキグループ全体が国内外で震災からの復興を願い活動しました。まさにこれがホシザキの「グループ力」です。このグループ力をフルに活かすことで、連結利益の最大化を目指します。具体的には原価率低減や販売費及び一般管理費の削減を継続し、市場の変化に合わせて製品構成の見直しを図りながら新しい需要を開拓してまいります。同時に海外市場への進出を推し進めることで、将来的には海外売上高比率を35%規模まで拡大していきます。そのためには、製氷機に次ぐ価格競争力のある業務用冷蔵庫で積極的な事業拡大を図ります。継続してグループネットワークの拡充や南米やアジア、東欧など新興国を対象としたM&Aも成長スピードを速める選択肢として考え、取り組んでいます。

当社グループは、社会の一員としての自覚を忘れず、お客様のみならず社会に貢献する、進化する企業であることを目指し、一丸となって企業価値向上に邁進してまいります。引き続き株主の皆さまのご支援をお願い申し上げます。



環境負荷低減への取り組み

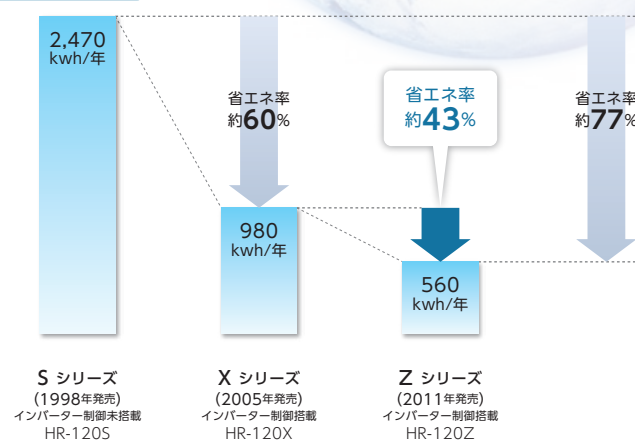
当社グループでは「良い製品は良い環境から」を経営理念に掲げ「ホシザキエコプラン」の推進をはじめ、さまざまな角度から環境負荷の低減に取り組んでまいりました。

省エネ性能を向上させた業務用冷凍冷蔵庫「Zシリーズ」をリリース(2011年4月)

昨年4月に販売を開始しました、業務用冷凍冷蔵庫Zシリーズが、震災以降の夏の節電対策の中、ご好評いただきました。皆さまからのご愛顧に感謝するとともに、当社グループは今後も省エネに対応した製品開発及び製造・販売を継続してまいります。

〈SからXさらにZへ、業界トップクラスの省エネ率を更新〉

年間消費電力量比較



※年間消費電力量は、JIS B 8630 (2009年版) で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。



電解水技術を応用した新しいカタチの「フラワーショーケース」

皆さんが生花店でよく見かけるフラワーショーケースに、ホシザキの電解水技術を融合させホシザキ独自のフラワーショーケースを開発いたしました。



FLX-90A

FLX-180A

電解水で生花に大敵な菌の繁殖を抑制

電解水で雑菌の繁殖を防ぐことにより、掃除の手間を省き、生花の保存性も向上させます。

毎日の水替え作業が不要

自動給排水を行い、水替え作業が不要になります。

生花を取り出しやすいオープンショーケース

電解水を使用することで常温保存が可能。扉が不要になり、お客様により近くに感じていただけます。

生花を鮮やかに演出するスタイリッシュなデザイン

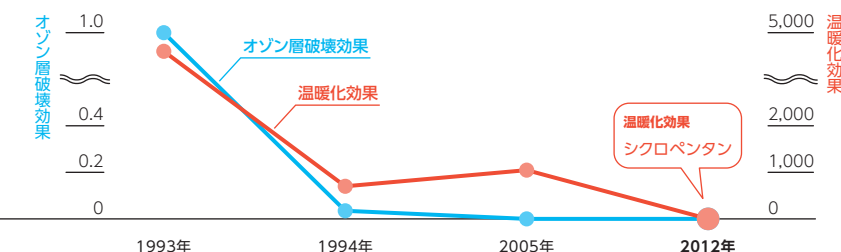
曲線を施したブラックの本体は生花の色を鮮やかに演出し、さまざまなロケーションに馴染みます。

ホシザキのノンフロン化への取り組み(2012年3月)

「温室効果ガスの削減」という地球規模の課題への取り組みとして、ホシザキ電機の本社業務用冷蔵庫工場において設備投資を行いました。これにより、断熱材発泡のノンフロン化を推進し、新たにシクロペンタン発泡[※]への変更を実施いたしました。また、当社グループでは、これまでに自然冷媒を使用したノンフロン製氷機の開発をしており、今後も地球温暖化防止という使命のために、より環境に配慮した製品作りを継続してまいります。

※シクロペンタン発泡とは…
従来の発泡方法と比較し、地球温暖化に与える影響の低い、炭化水素のシクロペンタンを使用した発泡方法。

〈社内で使用した断熱材の環境への影響〉



社会の動き
(要求事項)

オゾン層破壊防止

温暖化防止

・オゾン層破壊効果=オゾン層破壊係数 (ODP)
・温暖化効果=地球温暖化係数 (GWP)

環境に配慮したホシザキの「電解水技術」が、新しい市場を拓きます。

食塩水から隔膜を介した電気分解によって生成される電解水 (ROX・WOXシリーズ) は殺菌・洗浄・除菌など衛生管理を効率的に改善します。これまで外食産業で高い評価を得たこの電解水を他のさまざまな分野・市場に展開するべく、ホシザキでは研究開発を進めています。その一環として生まれたのが上記の「フラワーショーケース」。他にも医療分野や農業分野など、さまざまな市場への展開を積極的に進めています。

〈新分野へと広がる電解水の可能性〉

農業分野

医療分野

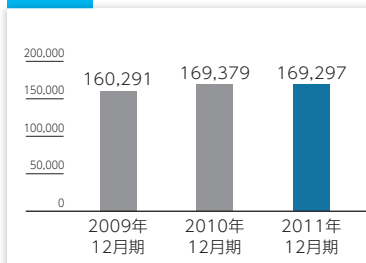
歯科医学分野



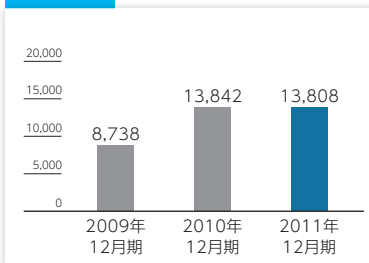
酸性電解水 ROX

連結財務ハイライト (単位：百万円)

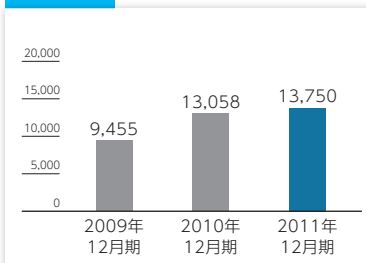
売上高



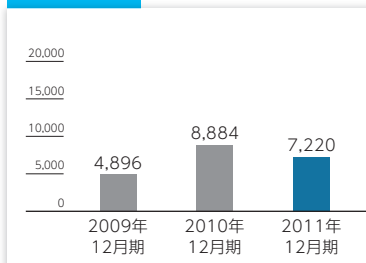
営業利益



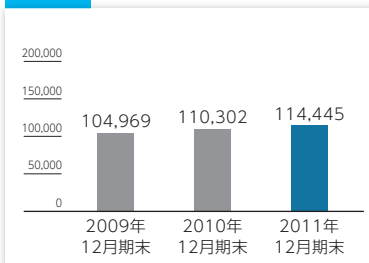
経常利益



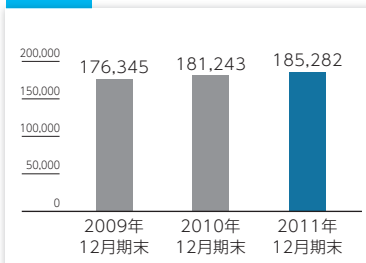
当期純利益



純資産



総資産



営業概況

事業環境

当連結会計年度における国内の経済環境は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による影響が大きく、企業の生産活動も大きな打撃を受けました。その後年度後半では回復基調で推移したものの、タイの洪水の影響、円高の長期化等により依然として厳しい環境で推移いたしました。海外におきましては、中国等アジア諸国の景気の拡大傾向は続くものの、その成長ペースは鈍化し、欧州の政府債務危機が深刻化する等、一層の先行き不透明感が強まる状況となっております。

当社グループを取り巻く環境におきましても、主要販売先である外食産業において、震災の影響による消費マインドは回復傾向にあるものの、消費者の節約志向は依然として強く、厳しい環境が続きました。一方で、販売面においては、震災の復旧需要が一部に見られたこと、節電対応による当社の省エネ製品への関心の高まり等により販売増加の動向もみられました。

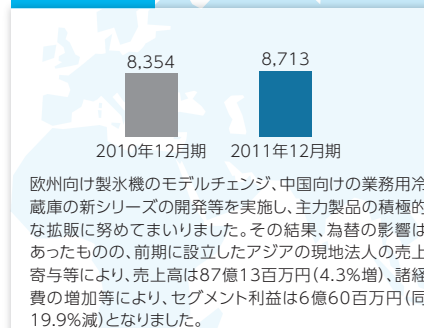
業績・成果

このような環境のなか、当社グループは、国内では、外食産業への積極的な拡販と外食産業以外の新規顧客の継続的な開拓を行ってまいりました。海外では、北中米、欧州・アジアにおいて、主力製品の拡販に努めました。その一方で、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努め、収益の確保にグループをあげて取り組みました。

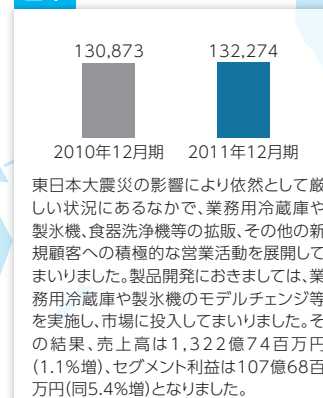
以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は1,692億97百万円(前期比0.0%減)、営業利益は138億8百万円(同0.2%減)、経常利益は137億50百万円(同5.3%増)となりました。また、当期純利益は受取和解金12億40百万円を特別利益に計上した前期と比較し18.7%減となる72億20百万円となりました。

地域別売上高 (単位：百万円)

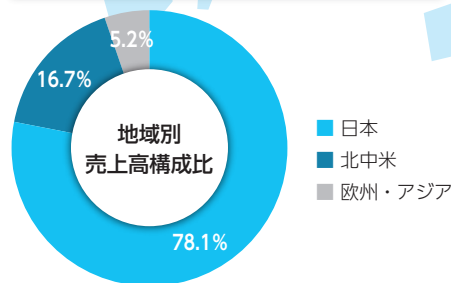
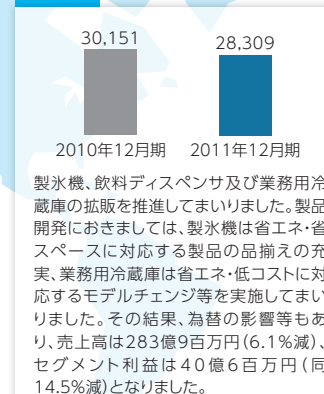
欧州・アジア



日本

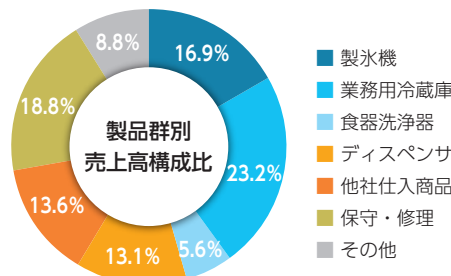


北中米



※エリア等を基軸に各法人を集約した「日本」、「北中米」、「欧州・アジア」をセグメントとしております。
※各地域の売上高は「外部顧客に対する売上高」となっております。

製品群別売上高 (単位：百万円)



| | 2009年12月期 | 2010年12月期 | 2011年12月期 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 製氷機 | 26,440 | 28,198 | 28,615 |
| 業務用冷蔵庫 | 36,345 | 38,379 | 39,212 |
| 食器洗浄器 | 9,661 | 9,764 | 9,574 |
| ディスペンサ | 19,809 | 23,155 | 22,212 |
| 他社仕入商品 | 23,394 | 23,156 | 23,067 |
| 保守・修理 | 30,783 | 31,473 | 31,766 |
| その他 | 13,855 | 15,251 | 14,849 |
| 合計 | 160,291 | 169,379 | 169,297 |

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

1 流動資産

前連結会計年度末に比べ91億56百万円増加し、1,221億47百万円となりました。主な要因は、有価証券が減少しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

2 固定資産

前連結会計年度末に比べ51億17百万円減少し、631億35百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物(純額)、のれん、投資その他の資産のなかの投資有価証券の減少によるものであります。

3 総資産 (資産合計)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ40億39百万円増加し、1,852億82百万円となりました。

| | 当期 2011年12月31日現在 | 前期 2010年12月31日現在 | 前期比 増減 |
|-----------------|---------------------|---------------------|---------------|
| 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | 122,147 | 112,990 | 9,156 |
| 現金及び預金 | 81,418 | 70,769 | 10,648 |
| 受取手形及び売掛金 | 17,069 | 16,409 | 659 |
| 有価証券 | 6,410 | 8,643 | △2,232 |
| 商品及び製品 | 6,139 | 6,112 | 27 |
| 仕掛品 | 1,872 | 1,938 | △66 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,857 | 4,546 | 311 |
| 繰延税金資産 | 2,329 | 2,281 | 47 |
| その他 | 2,133 | 2,378 | △244 |
| 貸倒引当金 | △83 | △88 | 5 |
| 2 固定資産 | 63,135 | 68,252 | △5,117 |
| 有形固定資産 | | | |
| 建物及び構築物(純額) | 14,277 | 15,090 | △812 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 3,832 | 4,198 | △366 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,728 | 1,830 | △102 |
| 土地 | 15,516 | 15,546 | △29 |
| リース資産(純額) | 106 | 104 | 1 |
| 建設仮勘定 | 1,279 | 645 | 634 |
| 無形固定資産 | 13,707 | 16,350 | △2,643 |
| のれん | 7,598 | 9,724 | △2,126 |
| その他 | 6,108 | 6,625 | △516 |
| 投資その他の資産 | | | |
| 投資有価証券 | — | 1,821 | △1,821 |
| 繰延税金資産 | 5,997 | 6,706 | △709 |
| その他 | 6,847 | 6,128 | 718 |
| 貸倒引当金 | △157 | △170 | 13 |
| 3 資産合計 | 185,282 | 181,243 | 4,039 |

| | 当期 2011年12月31日現在 | 前期 2010年12月31日現在 | 前期比 増減 |
|--------------------|---------------------|---------------------|--------------|
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 52,123 | 51,934 | 189 |
| 支払手形及び買掛金 | 9,490 | 10,021 | △530 |
| 未払金 | 9,995 | 9,580 | 414 |
| 未払法人税等 | 2,624 | 1,952 | 672 |
| 前受金 | 14,821 | 15,284 | △462 |
| 賞与引当金 | 2,206 | 2,232 | △25 |
| 製品保証引当金 | 868 | 846 | 22 |
| その他 | 12,116 | 12,017 | 98 |
| 固定負債 | 18,713 | 19,006 | △293 |
| 繰延税金負債 | 3,032 | 3,158 | △126 |
| 退職給付引当金 | 12,924 | 12,534 | 389 |
| 役員退職慰労引当金 | 471 | 407 | 63 |
| 製品保証引当金 | 269 | 258 | 11 |
| その他 | 2,015 | 2,647 | △631 |
| 負債合計 | 70,837 | 70,940 | △103 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 122,314 | 117,178 | 5,135 |
| 資本金 | 7,812 | 7,774 | 38 |
| 資本剰余金 | 14,335 | 14,296 | 38 |
| 利益剰余金 | 100,167 | 95,108 | 5,058 |
| 自己株式 | △0 | △0 | △0 |
| その他の包括利益累計額 | △7,986 | △7,009 | △976 |
| その他有価証券評価差額金 | △176 | △56 | △119 |
| 為替換算調整勘定 | △7,809 | △6,952 | △857 |
| 少数株主持分 | 117 | 133 | △15 |
| 純資産合計 | 114,445 | 110,302 | 4,143 |
| 負債純資産合計 | 185,282 | 181,243 | 4,039 |

4 流動負債

前連結会計年度末に比べ1億89百万円増加し、521億23百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金、前受金が減少しましたが、未払法人税等の増加によるものであります。

5 固定負債

前連結会計年度末に比べ2億93百万円減少し、187億13百万円となりました。主な要因は、退職給付引当金が増加しましたが、その他のなかの長期未払金の減少によるものであります。

6 負債合計

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億3百万円減少し、708億37百万円となりました。

7 純資産

前連結会計年度末に比べ41億43百万円増加し、1,144億45百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金の増加によるものであります。

連結損益計算書 (単位: 百万円)

| | 当期 2011年1月1日～ 2011年12月31日 | 前期 2010年1月1日～ 2010年12月31日 | 前期比 増減 |
|----------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------|
| 売上高 | 169,297 | 169,379 | △81 |
| 売上原価 | 104,011 | 104,840 | △829 |
| 売上総利益 | 65,286 | 64,538 | 747 |
| 販売費及び一般管理費 | 51,477 | 50,696 | 781 |
| 営業利益 | 13,808 | 13,842 | △33 |
| 営業外収益 | 649 | 626 | 23 |
| 受取利息 | 253 | 245 | 8 |
| その他 | 396 | 380 | 15 |
| 営業外費用 | 708 | 1,410 | △702 |
| 為替差損 | 438 | 1,166 | △728 |
| その他 | 270 | 244 | 26 |
| 経常利益 | 13,750 | 13,058 | 691 |
| 特別利益 | 11 | 1,522 | △1,511 |
| 製品保証引当金戻入額 | — | 262 | △262 |
| 固定資産売却益 | 11 | — | 11 |
| 受取和解金 | — | 1,240 | △1,240 |
| その他 | — | 19 | △19 |
| 特別損失 | 236 | 661 | △424 |
| 固定資産廃棄損 | 62 | 89 | △26 |
| 投資有価証券評価損 | — | 225 | △225 |
| 災害による損失 | 140 | — | 140 |
| リース資産撤去費用等 | — | 270 | △270 |
| その他 | 33 | 76 | △42 |
| 税金等調整前当期純利益 | 13,524 | 13,919 | △394 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,637 | 5,033 | 603 |
| 法人税等調整額 | 675 | 4 | 670 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 7,212 | — | 7,212 |
| 少数株主損失(△) | △8 | △3 | △5 |
| 当期純利益 | 7,220 | 8,884 | △1,664 |

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

| | 当期 2011年1月1日～ 2011年12月31日 | 前期 2010年1月1日～ 2010年12月31日 | 前期比 増減 |
|---------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 12,957 | 12,755 | 201 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,178 | △9,951 | 3,773 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,118 | △1,328 | △789 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △219 | 182 | △402 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 4,440 | 1,658 | 2,782 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 30,707 | 29,049 | 1,658 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 35,148 | 30,707 | 4,440 |

8 売上高

東日本大震災やタイの洪水等厳しい経営環境は続いたものの、震災の復興需要や節電対応の当社省エネ製品への関心の高まり等により、売上高は前年同期比0.0%減の1,692億97百万円となりました。

9 経常利益

原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性向上に努めた結果、また、為替差損の影響により、前年同期比5.3%増の137億50百万円で過去最高益となりました。

10 当期純利益

当期純利益は前年同期比18.7%減の72億20百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、129億57百万円の収入(前年同期は127億55百万円の収入)となりました。これは主に、法人税等の支払額が49億9百万円ありましたが、一方で、税金等調整前当期純利益が135億24百万円、減価償却費が41億95百万円あったことによるものであります。

12 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは61億78百万円の支出(前年同期は99億51百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入が53億28百万円ありましたが、一方で、定期預金の純増による支出が62億84百万円、投資有価証券の取得による支出が36億8百万円、有形固定資産の取得による支出が27億66百万円あったことによるものであります。

13 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、21億18百万円の支出(前年同期は13億28百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額が21億52百万円あったことによるものであります。

14 現金及び現金同等物の期末残高

現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ44億40百万円増加し、351億48百万円となりました。

(2011年12月31日現在)

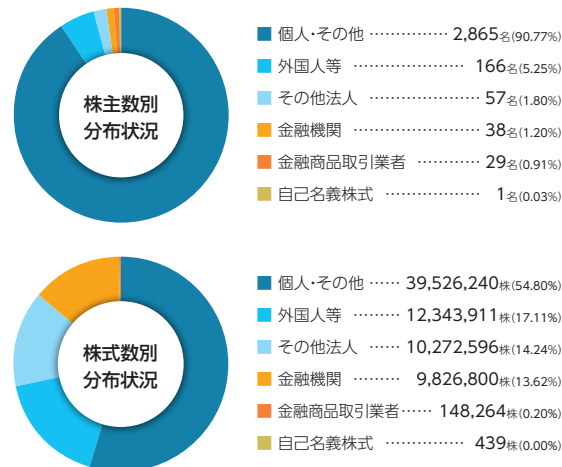
株式の状況

| | |
|----------|---------------|
| 発行可能株式総数 | 250,000,000 株 |
| 発行済株式の総数 | 72,118,250 株 |
| 株主数 | 3,156 名 |

大株主の状況

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|-------------------------------------|-----------|---------|
| 財団法人ホシザキグリーン財団 | 5,800,000 | 8.04 |
| ホシザキグループ社員持株会 | 4,563,090 | 6.32 |
| 坂本ドネイション・ ファウンデーション株式会社 | 3,180,000 | 4.40 |
| ジェーピー モルガン チェース バンク 385174 | 1,909,800 | 2.64 |
| 坂本精志 | 1,810,000 | 2.50 |
| 真木 薫 | 1,757,000 | 2.43 |
| 真木 豊 | 1,757,000 | 2.43 |
| ゴールドマン・サックス・アンド・ カンパニーレギュラーアカウント | 1,750,560 | 2.42 |
| 稲森美香 | 1,722,500 | 2.38 |
| 森井純子 | 1,712,500 | 2.37 |
| 富田由美 | 1,712,500 | 2.37 |

株式分布状況



(2011年12月31日現在)

ホシザキ電機株式会社

- 本社/愛知県豊田市
- 島根本社工場/島根県雲南市

国内グループ会社

- ホシザキ北海道株式会社/北海道札幌市
- ホシザキ東北株式会社/宮城県仙台市
- ホシザキ北関東株式会社/埼玉県さいたま市
- ホシザキ関東株式会社/東京都文京区
- ホシザキ東京株式会社/東京都港区
- ホシザキ湘南株式会社/神奈川県横浜市
- ホシザキ北信越株式会社/石川県金沢市
- ホシザキ東海株式会社/愛知県名古屋
- ホシザキ京阪株式会社/大阪府大阪市
- ホシザキ阪神株式会社/大阪府大阪市
- ホシザキ中国株式会社/広島県広島市
- ホシザキ四国株式会社/香川県高松市
- ホシザキ北九州株式会社/福岡県福岡市
- ホシザキ南九州株式会社/鹿児島県鹿児島市
- ホシザキ沖縄株式会社/沖縄県那覇市
- 株式会社ネスター/愛知県大府市
- サンセイ電機株式会社/島根県雲南市

海外グループ会社

- [北中米]**
- HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC./米国
 - HOSHIZAKI AMERICA, INC./米国
 - HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
 - HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
 - HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
 - HOSHIZAKI NORTHCENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
 - HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
 - HOSHIZAKI NEW ENGLAND DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
 - LANCER CORPORATION/米国
 - ADVANCED BEVERAGE SOLUTIONS, LLC/米国
 - LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
 - INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
 - SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V./メキシコ

[欧州・アジア・その他の地域]

- Hoshizaki Europe Holdings B.V./オランダ
- HOSHIZAKI EUROPE LIMITED/英国
- Hoshizaki Europe B.V./オランダ
- GRAM COMMERCIAL A/S/デンマーク
- GRAM UK LIMITED/英国
- Gram Deutschland GmbH/ドイツ
- Gram Nederland B.V./オランダ
- HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD/シンガポール
- HOSHIZAKI LANCER PTY LTD/豪州
- HOSHIZAKI LANCER LIMITED/ニュージーランド
- Lancer Europe/ベルギー
- 星崎冷熱機械(上海)有限公司/中国
- 星崎電機(蘇州)有限公司/中国
- 台湾星崎股份有限公司/台湾
- 星崎香港有限公司/香港